

## ⑫ 特 許 公 報 (B 2)

平1-41289 第417

⑤Int. Cl.  
A 01 K 87/00

識別記号

庁内整理番号

⑭公告 平成1年(1989)9月5日

Q-8402-2B  
D-8402-2B

発明の数 1 (全4頁)

⑮発明の名称 釣竿用トリガーの構造

⑯特 願 昭60-99635

⑰公 開 昭61-260823

⑱出 願 昭60(1985)5月13日

⑲昭61(1986)11月19日

⑳発 明 者 大 村 隆 一 静岡県静岡市南町19番3号

㉑出 願 人 富士工業株式会社 静岡県静岡市南町19番3号

㉒代 理 人 弁理士 芦田 直衛 外1名

㉓審 査 官 日 高 賢 治

㉔参 考 文 献 実開 昭56-97964 (JP, U) 実公 昭57-6135 (JP, Y 2)

実公 昭59-13826 (JP, Y 2)

1

2

## ㉕特許請求の範囲

1 ゴム弾性材料製の釣竿用トリガーであつて、釣竿のグリップ部分に装備される固定部と、固定部より突出され、外力を受けたとき、少なくとも釣竿の長手方向に屈撓しうるトリガー部とを有することを特徴とする釣竿用トリガーの構造。

2 トリガー部は、弾力性のある発泡体層の外表面に感触性のよいスキン層を形成させたものである特許請求の範囲第1項記載の釣竿用トリガーの構造。

3 固定部は、釣竿またはグリップ部分の曲面になじむ樋状をなし、トリガー部をはさむ樋状部分の両側にはグリップ部分に結束させる糸巻付け用の外面部分が形成されている特許請求の範囲第1項記載の釣竿用トリガーの構造。

4 固定部は、釣竿またはグリップ部分に嵌着する円筒体である特許請求の範囲第1項記載の釣竿用トリガーの構造。

5 固定部は、リールシートの固定スリーブに装着するほぼ円筒体に作られている特許請求の範囲第1項記載の釣竿用トリガーの構造。

6 固定部はグリップと一体に成形されている特許請求の第1項記載の釣竿用トリガー構造。

7 固定部およびトリガー部は発砲ウレタンの射出成形品である特許請求の範囲第2項ないし第6項の何れかの項に記載の釣竿用トリガーの構造。

## 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は釣竿用トリガー、特に可撓性のトリガー（指掛部）を備えたキャスティングロッドハンドルに関する。

〔従来の技術〕

従来のトリガー付きハンドルは、グリップと一体または別体にトリガーを形成させたものであり、トリガーに指をかけて竿を扱うことによりキャスティング操作を容易にしている。しかし、トリガーは通常硬質プラスチック又は金属で形成されているが、吸汗性と柔かい膚触りを目的としてトリガーを含めたグリップ全体と布または皮革で被覆したものが実開昭56-97964号公報に開示されている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

しかし、硬質プラスチック製のトリガーは勿論のこと、被覆されたトリガーにしても、トリガー自体が硬質であるため、次のような不都合や危険がある。例えば、用具類の中から竿を引き出すときや、仕舞うときにトリガー先端が引掛つて他の用具類を損傷させることがある。また投餌後、巻き取るために右手から左手にあるいは左手から右手に持ち代えなければならないが、この操作を急速に行なつた場合、誤つてトリガーの先端を指や手掌に強くぶつけ、指や手掌を傷つけることがあつた。また大きな獲物を取り込むときには、魚の

引込みに伴う張力が竿で拡大され、トリガーに集中しトリガーの先端が手指間の柔らかい部分を強く圧迫して疼痛を与えるなどの不都合がある。更に指の大小に適合しにくいという欠点もあった。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、トリガーメンバーを硬質なものとして先端に向うに従い、次第に大きな可撓性をもたせることにより上記の欠点を除去したものである。すなわち、本発明はゴム弾性材料製の釣竿用トリガー構造としたものであつて、釣竿のグリップ部分に装備される固定部と、固定部より突出され、外力を受けたとき少なくとも釣竿の長手方向へ屈撓しうるトリガー部とを有することを特徴とするものである。

本発明は、用具類の中から竿を引き出すときや仕舞うときにトリガー先端が引掛つて他の用具類を損傷させることがなく、またハンドルの持ち換え操作を急速に行なつた場合、誤つてトリガー先端を手掌に強くぶつけても手掌を傷つけることもない。さらに大物を取り込むときに急の引き込みに伴う張力が竿で拡大され、トリガーに集中しても、トリガーの先端が手指間の柔らかい部分を強く圧迫することがなく、従つて疼痛を与えることもない。また指の大小に適合する。なお、本発明におけるゴム弾性材料としては、発泡ウレタン、発泡塩化ビニールなどの発泡プラスチックのほか軟質塩化ビニールのごとき軟質プラスチックまたはABSのごとき合成ゴムが用いられる。

本発明の固定部はグリップに一体に形成されたのに限定されず、釣竿に嵌装するため円筒体または糸紐を用いて釣竿に結縛された槌状に形成されたものでよい。なおトリガー部は弾力性のある発泡体層の外表面に感触性のよいスキン層を形成させたものであるから、手指のかかりが良く、魚の取込み時の把持もしつくりとなるため、キャスト操作をスムーズに行なうことができる。

〔実施例〕

まず、第1図ないし第3図に示す第1実施例について説明する。

第1図は釣竿用トリガー部材2拡大断面図、第2図は同じく拡大正面図、第3図は釣竿1にトリガー部材2を糸3で巻付固定した場合を示している。すなわち、このトリガー部材2は、所定長さ

の槌状をなす固定部4に可撓性のあるトリガー部5を一体に突出形成させている。これを釣竿1に組付けるには固定部4の内面を釣竿1に当接させたのち、トリガー部5をはさむ固定部4の前後両外面部分に糸3を巻付け、必要により樹脂塗料で硬化させて固定する。固定部4およびトリガー部5は、発泡ウレタンの射出成形によつて作られており、第1図の拡大断面のように内部の弾力性ある発泡層6の外表面を感触性の良いスキン層7で覆っている。トリガー部5は固定部4に連続した根元部より先端に向うに従い、幅および厚みを漸減させている。すなわち、トリガー部5を第1図のように側面から見ると、トリガー部5は、指掛けに適するように前方に湾曲傾斜しており先端に向うに従い肉薄になつていく。また第2図に示すように正面から見ると下向き双曲線で根元部から先端に向うに従い幅狭となつており、トリガー部5の断面は幅の方が肉厚よりも広がっているもので、外力を受けたときに前後方向、特に、第1図の鎖線で示すように前方向に屈撓し易い構造となつていく。従つて、投餌後、ハンドルの持ち換え操作を急速に行なつた場合、誤つてトリガー部5の上からハンドルを強く握んでもトリガー部5が、第8図について後述するときの作用と同様に屈撓し倒れた状態でハンドルを握むことができるから指や手掌を傷つけることがない。また、釣竿を用具類から引き出すときや仕舞うときにも他の用具類を傷つけることがない。さらに可撓性のある先端部は指の大小にも適合できる等の効果をもたらす。なおこのトリガー部5は外表面がスキン層7で覆われているので、指掛けしたとき感触が良好で、トリガー部5に力が加つても円部の発泡層6の弾力により、ソフトにタッチされるためキャスト操作時に指、手首などの疲労感を与えない。

第4図は釣竿1の端部にグリップ8を被着し、その前方にトリガー部材2を配置した第2実施例を示す。トリガー部5はグリップ8の前方に固定される円筒状の固定部と一体に成形され、前の実施例と同じく内部の発泡層の外表面をスキン層で覆い、外力を受けたとき前後方向へ屈撓しうるものとなつていく。したがつてキャスト操作の前後を通じて前と同様の効果を発揮する。

第5図は第3の実施例を示すもので、リールシ

5

6

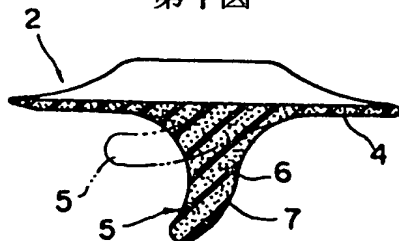
ート9の固定スリーブ10にトリガー部材2を被せ矢印15の方向に押圧して取付ける状態を示している。図中符号11はリールシート9の可動スリーブ、12はネジ部、13はネジ部12に螺合させたメネジ筒である。トリガー部5は固定スリーブ10の外面に被着できる円筒状の固定部14に突出形成されている。トリガー部5は可撓性を有しているため、前と同様の作用効果を発揮する。

第6図および第7図は、グリップ8を含む固定部24とトリガー部5とリールシート9の下側をカバーする延長部18とを一体に形成させた第4実施例を示す。リールシート9は硬質プラスチック製でグリップ8の前端部に挿入すると共に、リールシート9の下側をトリガー部5の延長部18に当接させた後、これらの部分を接着して一体化している。なお、図中第4図、第5図と同じ部分は同一の符号を付してある。

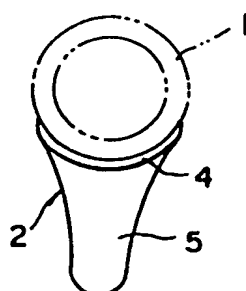
第8図はリール19の足部附近をしつかり把持して魚を取り込むときの状態を示している。前述のようにトリガー部が硬く、先が尖つていると、通常の竿の出入れに危険であるばかりでなく、魚の取り込み時にハンドルを持ち代えてトリガーの上から急に握むと、支指や掌を傷つけることがある。これに対し、本発明の場合には第8図に示すようにハンドルの持換え操作を急に行つたときにトリガー部を上から強く握んでも、トリガー部5が前方に屈撓し、倒れた状態で柔らかくタッチされるため手指、掌を傷めることがない。なお、本発明の実施する上において、トリガー部の形状は図示のものに限定されない。

〔発明の効果〕

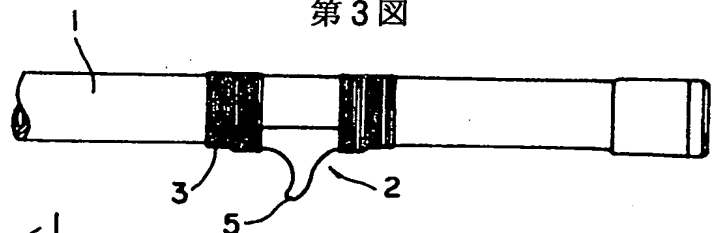
第1図



第2図



第3図



- |          |         |
|----------|---------|
| 1…釣竿     | 5…トリガー部 |
| 2…トリガー部材 | 6…発泡層   |
| 3…糸      | 7…スキン層  |
| 4…固定部    |         |

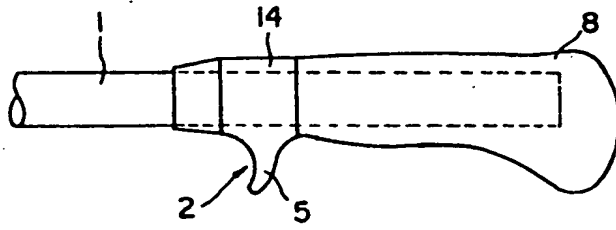
上述のように本発明は釣竿のグリップ部分に装備される固定部と、固定部より突出され、外力を受けたとき、少なくとも釣竿の長手方向に屈撓するトリガー部とを有し、全体としてゴム弾性材料製の釣竿用トリガー構造としたものであるから、外力を受けたときに屈撓して他の用具類及び手指等を傷めることがない。また大物を取り込む時に魚の引込み力に伴う張力が竿で拡大されトリガー部に集中し、トリガー部の先端が手指間の柔らかい部分を強く圧迫しても疼痛を与えることもない。また指の大小にも適合することができる。更に投餌後巻き取るために、右手から左手に、或いは左手から右手に持ち換えなければならないが、この操作を急速に行つた場合、誤つてトリガー部の上からハンドルを強く握んでもトリガー部が屈撓し倒れた状態でハンドルを握むことができるから、指や手掌を傷つけることがなく、ハンドル操作をスムーズに行なうことができる等の効果がある。

#### 図面の簡単な説明

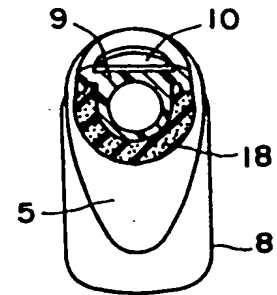
第1図ないし第3図は第1実施例を示すもので、第1図は本発明の釣竿用トリガーの拡大縦断面図、第2図は拡大正面図、第3図は釣竿に取り付けた状態の側面図、第4図は第2実施例の側面図、第5図は第3実施例の側面図、第6図は第4実施例の縦断面図、第7図は第6図の縦断面図、第8図は使用状態の側面図である。

1……釣竿、2……トリガー部材、3……糸、4、14、24……固定部、5……トリガー部、6……発泡層、7……スキン層、8……グリップ、9……リールシート、18……延長部。

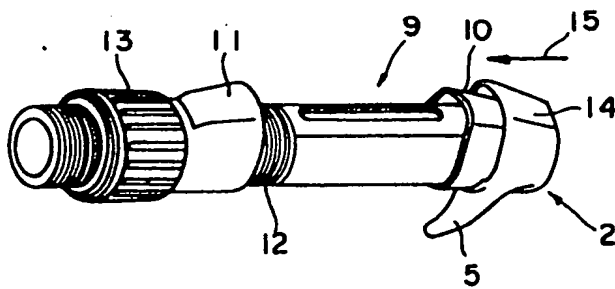
第4図



第7図

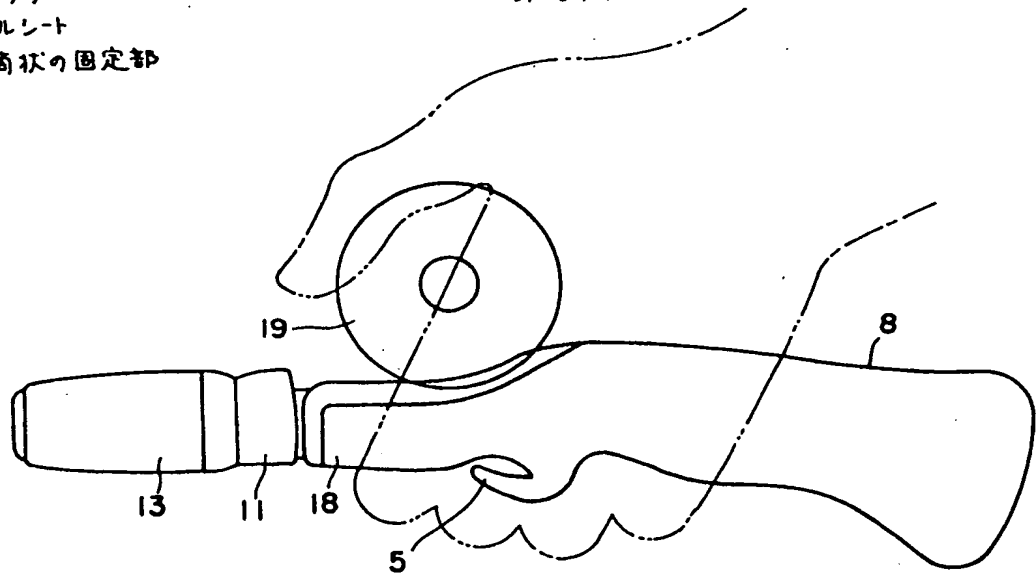


第5図



8... フリップ  
9... リールシート  
14... 円筒状の固定部

第8図



18... 延長部  
19... リール  
24... 固定部

第6図

